

東京情報大学・香取市 地域連携フォーラム 2018

主催 東京情報大学・香取市

2019年

1/24(木)

13:30 ~ 15:30 (13:00 開場)

会場

佐原中央公民館

第二部

第一部

〔講演〕
戦時下の銀行統制が地域経済に与えた影響

堂下 浩 教授（東京情報大学 総合情報研究所 所長）

〔パネルディスカッション〕

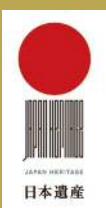
川崎銀行が佐原に莊厳な支店を築いた背景と
三菱銀行に吸収された経緯

川崎 善保 監査役（川崎定徳 株式会社）
進藤 寛 名誉教授（茨城大学）
堂下 浩 教授（東京情報大学 総合情報研究所 所長）

佐原三菱館が語る

銀行統制の時代

（香取で隆盛を誇った旧川崎銀行を辿る）



日本遺産



事前予約制（定員：100名）※詳細については、裏面をご覧ください。

お問合せ・申込先

東京情報大学 総合情報研究所
香取市役所 生活経済部市民協働課

043-236-4710

0478-50-1261



東京情報大学・香取市 地域連携フォーラム 2018

佐原三菱館が語る銀行統制の時代 ～香取で隆盛を誇った旧川崎銀行を辿る～

この度、佐原中心市街地のシンボルである「佐原三菱館」旧三菱銀行の前身である旧川崎銀行の歴史を紐解きながら、堂下浩教授※のほか、戦前の貯蓄銀行や地域金融について造詣の深い茨城大学の進藤寛名譽教授と、当館の歴史に詳しい川崎定徳株式会社の川崎善保監査役も参加し、日中・太平洋戦争下における国による銀行統制時代の香取地域における銀行と経済の隆盛を分かり易く語っていただきます。

川崎銀行は江戸時代、水戸藩の勘定方をつとめた川崎八右衛門が1880（明治13）年に設立した銀行で、川崎財閥の中核企業として戦前には有力銀行の一つにまで発展しました。1927（昭和2）年に川崎第一銀行、1936（昭和11）年に第一銀行と改称した後、1943（昭和18）年に支店数では第一銀行に比べ圧倒的に少ない三菱銀行に吸収されました。さらに川崎財閥は地域銀行の経営にも積極的に関与し、千葉銀行や常陽銀行といった地方銀行は川崎財閥の傘下にあった銀行にその前身を遡れます。川崎財閥は戦争中に消滅しましたが、その経営理念は今日も馴染みのある銀行に連綿と受け継がれていると言えます。

このように明治期の旧川崎銀行から戦時中に三菱銀行、そして現在のメガバンクへという時代の趨勢、そして川崎財閥が設立に関与した地域銀行が今日の有力な地方銀行へ繋がるという流れ、こうした歴史の側面から金融再編の帰趨を考察することは、戦後日本経済の“光と影”について見つめ直すだけでなく、香取の繁栄を誇った地域経済を知る上で大変有意義です。

現在香取市では、文化財である佐原三菱館の恒久的な維持管理を図り、この遺産を次の世代に引き継いでいくため、専門家を交えた保存修理事業に着手しており、出来る限り創建当時の工法や資材を取り入れるべく建物構造部の調査を実施しています。このフォーラムによって、江戸優りと謳われた戦前の佐原経済の一翼を担った旧川崎銀行を中心に当時の旺盛を振り返り、旧川崎銀行が佐原に堅牢な支店を建築した背景などを研究者と市民の皆さんと、当時の政治情勢と地域経済の歴史を再考することにより、地元のシンボルへの愛着を深める一助となれば幸いです。

※東京情報大学の堂下浩教授（専門：金融論）は、平成24年度に東京情報大学と香取市が締結した地域連携協定に基づく学生主体の研究プロジェクトに携っています。

主 催 東京情報大学・香取市

開催日 平成31年1月24日（木）13：30～15：30(13:00開場)

会 場 佐原中央公民館 大会議室（千葉県香取市佐原イ211）

申込方法 事前予約制（定員：100名）

■インターネットでのお申込方法 地域連携フォーラム申込フォーム
(東京情報大学 ホームページ > 社会貢献・公開講座 > 生涯学習 > 地域連携フォーラム)

■電話でのお申込方法
東京情報大学 総合情報研究所 ☎043-236-4710
※電話での受付時間：9時～17時（土日、祝日、冬季休業日12月25日～1月4日を除く）
香取市役所 生活経済部市民協働課 ☎0478-50-1261

担当部局 【学校法人東京農業大学】
東京情報大学 総合情報研究所
千葉県千葉市若葉区御成台4-1 ☎043-236-4710

【香取市役所】
生活経済部市民協働課
千葉県香取市佐原口2127 ☎0478-50-1261